

# 光に向かつて

(088)

天を覆う雲は厚くとも、  
太陽は常に大空に在る。  
風が来て雲を払えば、  
黄金の光が燦然と輝く。  
人の心に吹きすさぶ八風を、  
苦悩の雲を吹き払う風として、  
眞実を覩る智慧の光を迎えよう。

智慧の光が輝くとき、宇宙生命（尊天）に生かされている万象を  
観る。

あなたも私も、花も鳥も、みな共に生かされているこの世界。

万象が織りなすいのちの相、

宇宙に懸かる金色のいのちの羅網、

遠い昔から受け継いで来たいのちの絆、

私もその中の一つのいのち、

たがいに手を繋ぎ響き合ういのち、

あなたも私も、樹も水も、みな共に厳然と生かされている。

慈愛の温もりに抱かれ、智慧の光に照らされて、

豊かな活力に満たされて、

今ここに生かされていることの嬉しさと有り難さ、

この歡びと感謝の輪を広げよう。

あなたも私も、あの人もこの人も、たがいに光り合い照らし合う、  
明るい未来を信じ希いながら、

1日1日を宝石のように大切に生きよう。

すべては尊天にてまします。

京都鞍馬寺にて